

湯崎広島県知事・林正夫県議会議長を表敬訪問
広島県産牛乳PR

7/6 広島県庁

熱中症に牛乳が効くんですよ！



イクメンの県知事、是非とも牛乳料理を楽しんでください!!

広島県牛乳普及協会(山本武会長)は、広島県産牛乳と乳製品の美味しさと消費拡大、そして、酪農業への理解を求めるため湯崎英彦広島県知事並びに林正夫広島県議会議長を訪問した。

訪問したのは、山本武会長、中田貴顕副会長、後藤一昭副会長、山延眞智子委員長、山延伊久江さん(ひろしま女性グループ連絡協議会)、井上正芳委員長(広酪メンバーズクラブ)、隅屋寒三事務局長。

新鮮な広島の牛乳が一番美味しい。特に風呂上りに腰に手を当てて飲むのが一番ですネ。



「ひろしま酪農かあちゃん発案美味しいレシピ集」を紹介する山延委員長。



(山延親子から乳製品を受け取り、湯崎知事らと共にPRしたいと喜びの表情をされる林議長)。

(酪農実習受け入れの自らの体験と共に酪農業への理解を求める山延伊久江さん)



(昨今、節電を求められる夏場において、酪農現場では大変難しく、乳牛の飼養管理の難しさを訴える井上委員長)



例年、広島県牛乳普及協会は関係団体と連携して、六月の牛乳月間に合わせて県知事並びに県議会議長を訪問し牛乳消費拡大をPRしてきた。今回初めて県知事との日程調整が整い、知事本人へのPRが実現した。これには新聞社やテレビ局からの取材を受け県民へのPRも出来た。また、未だ厳しい酪農情勢について、酪農生産者の生の声として山延眞智子委員長・伊久江さん親子、井上正芳委員長らから酪農業への理解が求められた。普及協会の副会長は、牛乳の飲用率の低い未就学児や牛乳離れする中学生らへの消費拡大への協力、そして、いま話題の熱中症予防にからめて牛乳の効果をPRした。

広島県牛乳普及協会では、今後においても酪農家、乳業者、販売店の「生・処・販」三者一体となつて、牛乳消費拡大の共通目的に沿って、多方面から普及活動を続ける草の根運動を展開して行きたい。これをひとつのきっかけとして、皆さんも是非、小さな普及活動から始めてみませんか。

若い力で広酪を引っ張っていこう!



東部管内青年部

&

西部酪楽会交流会

若い力

23名参加

東部 12名
西部 11名

6/22

たかみや湯の森

東部管内青年部(内海利彦部長)と西部酪楽会(井上正芳会長)は、念願であった西部地域と東部地域の青年部交流会を開催した。呼びかけは広酪ホルスタイン改良同志会の役員・藤井康浩さんと井上正芳さんが中心となっていた。

初回となる会場は西部地域の「たかみや湯の森」(安芸高田市高宮町)とし、東部管内青年部十二名が送迎バスで乗り付けると西部酪楽会の会員十一名が出迎えた。交流会は西原嘉一さんの司会進行で始まり、井上正芳会長(西部酪楽会)が「今日は和気藹々と過ごしましょう」と歓迎挨拶を述べられ、続いて、内海利彦部長(東部青年部)が「若い人が集って良い意見を出し合い、楽しい話題で盛り上がりましょう」と挨拶された。

樽好美子東部事業所長(広酪)の乾杯発声で「若い人たちの結集で広島県の酪農を盛り上げて引っ張って頂きたい」と開宴した。まずは会員の自己紹介から始まり、各々の飼養頭数やその経営特徴、家族構成や年齢、後継者として就農した経緯等、ジョークやエピソードを交えて話し、会場は終始笑い声が絶えず、会員らはしっかりと打ち解けあった。意見交換会では「仲間意識が高まると新たな思想が生まれる」「今ある広酪メンバーズクラブは会員であっても参加しづらい。こうした地域青年部が広島県の青年部の活動としてはどうか」「共進会も含めて考え方ややり方をもっとみんなが目を向けて参加しやすいようにしてはどうか」等、青年部活動や同志会活動等に対する活発な意見・提案もあり、それぞれの役員を務める井上会長を参加者らは盛り上げていた。

井上会長は、来る七月に開催される全国酪農発表大会への参加を呼びかけ、これに添えて参加者から直ちに参加したいとの意志表示があり、今後の応援体制への期待と、心強さが感じられた。

閉会は東方田了一さん(西部酪楽会)が「東部地域から声を掛けて頂き、年齢差の近い者同士が意見交換出来て良かった。今後もこの会を続けて親睦を深めていきましょう」と締めくくった。次の交流会は東部地域と約束して、参加者らは有意義な交流会に満足して閉会した。